

月刊 紀伊スポーツ

第98回全国高校ラグビー県大会が28日、和歌山市の紀三井寺公園補助競技場で開幕する。10校が花園出場を目指して挑む。田辺・西牟婁から県大会に出場する3校の主力にチームの特色や大会への意気込みを語ってもらった。

花園目指し全力

28日開幕 高校ラグビー県大会



田辺工 15人で勝利狙う

昨年新チームになった時点の出場となる。他の運動クラブで部員は4人で、これまでの「プから一助」部員なしに大会には他校との合同チーム。夏の合宿で一緒に鍛えたメンバーで参戦していた。今年6月にバーで出場できるのはうれし。新入部員が入って15人そろい。けが人を除き、万全の。今大会は初めての単独で、状態で臨みたい。

一人一人がうまくなりたいたい。高い意識を持っており、できるだけ多く練習したいと早め早めの行動を心掛けている。皆で意見を共有したり、ネットでもグリーンの動画を観たりして勉強している。人数が少なく、マネジャーもいないので人任せにしないようにしている。チームの持ち味は明るく、試合中は笑顔でプレーを楽しむ。

田辺「笑顔の方程式」で臨む

選手は1年生5人、2年生7人に1年生9人が加わった。今冬の新人戦は田辺工業と合同で出場したが、春から単独チームで試合に出場できるように頑張りたい。笑顔が絶えず、先輩後輩関係なく仲の良いチーム。「声」を元気に笑顔という方程式をつくり、試合中はそれを意識してプレーしている。

選手は3年生5人、2年生7人に1年生9人が加わった。試合後はラグビーノートを書き、監督に提出する。出てきた課題はミーティングで話し合い、それを意識して練習や次の試合に生かしている。



熊野 チームの歴史変えたい

どのポジションも、でもトフを決められる。自分が対戦したら嫌だろと思うチーム。一人一人の能力が高いが個々の能力が伸びず、チームとしてまとまることができていない。練習で、次第に良くなりたい。相手の守備に勝つ。それを逃さずボールを運んでいこう。



冬場は走り込みや器具を使わない筋トレをして肉体的、精神的に追い込んだ。その結果、体が大きくなり、例年よりもきつい練習を耐えたい。ここにも負けたくない。そしてどの選手も心掛けた。近隣校との練習試合をしたことがあった。個人的にも小学校からラグビーをやっていて、初戦の相手である熊野にはグリーチームで一緒にプレーする。春の大会で対戦して負けていたチームメイトもいる。だから、しっかりと抑え、勝たせたい。

（選手）3年 生賀智也、田植陸斗、垣内賢人、大甫直史、松下涼一、2年 井瀬寿太郎、松山亮斗、前田航次、谷口翔哉、宮坂勇輝、福山一茶、山崎航介、1年 高橋一途、中川智貴、上山斗樹、笠松達哉、新田早希、寒川優生、早稲田慶、榎本優樹、竹本和馬、（マネジャー）2年 赤木小夏、1年 藤井杏香

（選手）3年 清水幸大、吉澤颯太、濱口龍世、鳥羽弘人、松田翼、楠本唯陽、柳谷来依、垣本拓海、雨積慎二、坂本亮明、矢野幹大、2年 田上比呂、柴山貴亮、橋岡祥季、川口耀大、小鮎和樹、南大智、谷中汰介、谷本瑠佳、谷口遥馬、田上亮太郎、1年 西尾健、岡村泰希、矢野桂大、厚海純、濱口恰一、田元隆太、中村奈義、佐久間流夏、蒲田直希、白木智隆、（マネジャー）3年 山下明子、1年 深瀬捺希、松田美咲、雨積映絵、松本佳凜